

★NBK大賞とは

●目的

関西地域において独創的かつ市場性のあるニュービジネスを展開している企業・経営者及び学生の中から事業及びビジネスプランの優秀性などを評価し、優秀者に対して表彰・公表を行うことにより、それらのニュービジネス・経営者の事業成長を側面から支援するとともに、学生の起業家精神の高揚、将来の起業家発掘・育成を図る。

●内容

企業部門

NBK大賞、近畿経済産業局長賞、日本経済新聞社賞、ビジネスアイデア賞

学生部門

学生ニュービジネス大賞、近畿経済産業局長賞

●対象

- ・事業規模の大小にかかわらず、創造性がある事業や商品（製品）を発案し、既に事業化し、将来より一層発展すると思われる企業。
- ・新分野への進出、斬新な経営手法の導入で起業家精神を発露する経営者。
- ・関西地域（大阪府・京都府・兵庫県・福井県・滋賀県・奈良県・和歌山県）に主たる事業所があること。
- ・関西地域（大阪府・京都府・兵庫県・福井県・滋賀県・奈良県・和歌山県）の大学・大学院及び専門学校の学生。（グループ応募可）

審査委員長 宮田 由紀夫氏 大阪府立大学経済学部 教授



所属 大阪府立大学経済学部（産業学会） 職名 教授（理事）
 学位 Ph.D.(経済学) 専攻 産業組織論
 略歴 1983年 大阪大学経済学部卒業
 1987年 University of Washington, Seattle, 工学部材料工学科卒業
 1989年 Washington University, St. Louis, 大学院工業政策学研究科修了
 1994年 Washington University, St. Louis, 大学院経済学研究科修了
 1995年 大阪商業大学商経学部 専任講師
 1998年 同大学 助教授
 2001年 大阪府立大学経済学部教授（現在に至る）
 著書 『アメリカの産業政策』八千代出版、2001年
 『アメリカの産学連携』東洋経済新報社、2002年
 『日本の産学連携（共編著）』玉川大学出版部、2007年
 『プロパテント政策と大学』世界思想社、2007年 ほか多数

1.企業部門

【NBK大賞】

バルテス株式会社 代表取締役社長 田中 真史
 ●地上デジタルフルセグ受信機テストサービス

【近畿経済産業局長賞】

株式会社バイオエックス 代表取締役 内山 正克
 ●テーラーメイド医療に貢献する
 バイオセンサー及び分析装置の開発

【日本経済新聞社賞】

株式会社オプト 代表取締役 安田 享
 ●エアクオリティコントロール事業
 ～人々に安全・安心・快適な空気環境を～

【ビジネスアイデア賞】

株式会社デジタルマックス 代表取締役会長 垣内 重栄
 ●WEBカタログ自動制作ソフト「Live Book Master」
 株式会社ヒロテック 代表取締役 木村 浩基
 ●コンテナ兼用吊り具（スプレッダー）の開発と事業化

2.学生部門


【学生ニュービジネス大賞】

HAcaI OKA (奈良先端科学技術大学院大学 松田かおり 他)
 ●HAcaI OKA～アバターを使った健康管理支援システム～


【近畿経済産業局長賞】

釋 一晃 (京都大学経営管理大学院)
 ●携帯電話を介したWeb 2.0的観光補助システム

1. 企業部門 【NBK大賞】

	対象事業	地上デジタルフルセグ受信機テストサービス	
		会社名/URL/E-mail	代表者/所在地/TEL/FAX
		バルテス 株式会社	代表取締役社長 田中真史(たなかしんじ) 〒541-0052 大阪市中央区安土町3-5-12 住友生命本町ビル5F
		URL http://www.valtes.co.jp E-mail: soumu@valtes.co.jp	TEL 06-6267-6500 FAX 06-6267-6501
		会社設立 2004年4月	従業員数 197人(内契約社員52名)
	資本金 14,500万円	売上高 115,206万円	
事業概要	デジタル化の進展に伴いデータの送受信によるコンテンツ形態が増加、正確な情報を提供する重要性が高まっている。同社はワンセグ受信機のテストサービスで培った技術をベースに地上デジタル放送向けのテストサービスを開始。受信機のデータ放送動作/表示テストから放送前のデータ放送コンテンツのテストまで幅広い範囲でのテストが可能。		
授賞理由	2011年に完全移行予定の地上デジタル放送時代において、デジタル放送のコンテンツは双方向で受信されるようになる。同社が行うこのテストサービスは、受信機の品質を確保しつつ、テスト実施工数を削減する自動打鍵機を使用したサービスを提案しており、他社に先駆けてワンセグ放送コンテンツ事業のノウハウを活かして、地上デジタルフルセグ受信機向け自動テストサービスの事業化に成功した。今後の成長に期待したい。		


【近畿経済産業局長賞】


	対象事業	テーラーメイド医療に貢献するバイオセンサー及び分析装置の開発	
		会社名/URL/E-mail	代表者/所在地/TEL/FAX
		株式会社 バイオエックス	代表取締役 内山正克(うちやままさかつ) 〒601-8205 京都市南区久世殿城町102番地
		URL http://www.bio-x.co.jp E-mail: info@bio-x.co.jp	TEL 075-925-4501 FAX 075-925-4508
		会社設立 2001年4月	従業員数 3人
	資本金 5,250万円	売上高 109万円	
事業概要	信号累積型ISFETプロトンセンサーは酵素反応等の生理活性反応により生じる水素イオン濃度の微小な変化を半導体チップが電的に検出し、定量的な分析を行うセンサー。反応変化を直接電気信号に変換する事で精度の高い分析ができ、従来のような発色プロセスが不要。また累積機能により極微量でも測定が可能。タンパク質の反応を定量的に分析する事で遺伝子異常を解析、病気の早期発見やテーラーメイド治療の実現性が高まる。		
授賞理由	同社代表取締役内山氏はローム、堀場製作所等で培った経験と人的ネットワークを活かし半導体を用いたバイオセンサーの開発に情熱を捧げてきた。この技術は臨床、病理、創薬検査、食品安全性検査など幅広い用途に応用が可能で、遺伝子レベルでの病気の要因解析だけでなく、残留農薬問題など食品の安全性に係る問題にも検査機器として利用が見込まれる。これからの飛躍が望まれ、技術的側面からも授賞にふさわしい事業である。		

【日本経済新聞社賞】

	対象事業	エアクオリティコントロール事業～人々に安全・安心・快適な空気環境を～		
	会社名/URL/E-mail		代表者/所在地/TEL/FAX	
	株式会社 オプト		代表取締役 安田 享 (やすだとおる) 〒650-0045 神戸市中央区港島9-1 K10-316	
	URL http://www.opto-g.com E-mail: info@opto-g.com		TEL 078-306-0666 FAX 078-306-0660	
	会社設立	2000年10月	従業員数	5人
資本金	5,400万円	売上高	10,373万円	
事業概要	同社は光触媒による空気汚染物質を分解、除去する製品を取り扱っているが、紫外線量の少ない屋内では効果が限定的であった。この為、開発されたのが本事業の中核となる「スーパーマイクロリアクター」である。成分は穀物抽出物質・穀物由来物質で、即効性と持続性のある抗菌・消臭機能を併せ持っている。医療介護、飲食店など市場範囲が広く、様々な散布・塗布方法が可能。			
授賞理由	光触媒技術に代表されるように高い技術力を有している企業。屋外は光触媒、屋内は「スーパーマイクロリアクター」と事業コンセプトは明確である。同社の経営理念「人と地球にやさしい環境改善技術により、安心・安全・快適を提供する事業を行う」の通り、環境に配慮した事業取組を実践。空気環境の改善の意識が高い現在の状況から見れば、商品展開の方法により大きく市場を掴む可能性を秘めている。			


【ビジネスアイデア賞】

	対象事業	WEBカタログ自動制作ソフト「Live Book Master」		
	会社名/URL/E-mail		代表者/所在地/TEL/FAX	
	株式会社 デジタルマックス		代表取締役会長 垣内重栄 (かきうちしげよし) 〒564-0063 吹田市江坂町12-50 日本ヘルス江坂ビル7F	
	URL http://www.digitalmax.jp E-mail: info@degitalmax.jp		TEL 06-7650-2046 FAX 06-6310-7698	
	会社設立	2000年3月	従業員数	27人
資本金	12,150万円	売上高	21,973万円	
事業概要	同社はWEBカタログ制作において映像からシステム開発まで顧客ニーズに合わせた製品を一度に提供出来る技術を有している。その技術を活かし専門知識が無くても高機能なWEBカタログを制作出来る本製品を開発。特許技術の画像表示システムやカタログ内で人物動画による案内、画質を落とさない拡大機能など見せるカタログを作成する機能が豊富。販売方式はASPを採用し、カスタマイズで収益をあげるビジネスモデル。			
授賞理由	ブロードバンド網が整備されてきている昨今において、WEBカタログ制作に着目し特許技術により優位性を確保。紙媒体が主流であるカタログビジネスにおいて、WEBカタログは機能面・環境面・効率性の観点から優れた効果を発揮。また導入企業へは紙媒体と比較してコストメリットを提供できる。WEBカタログ制作技術や製品完成度の高さ、市場性、環境貢献度から授賞となった。			


	対象事業	コンテナ兼用吊り具（スプレッダー）の開発と事業化		
	会社名/URL/E-mail		代表者/所在地/TEL/FAX	
	株式会社 ヒロテック		代表取締役 木村浩基 (きむらひろもと) 〒663-8202 西宮市高畑町3番48号	
	URL http://www.hirotech.net/ E-mail: info@hirotech.net		TEL 0798-66-5143 FAX 0798-66-5252	
	会社設立	1985年7月	従業員数	13人
資本金	400万円	売上高	16,547万円	
事業概要	海上輸送を伴う場合に用いられるコンテナの長さは20フィートと40フィートの2種類がある。その取扱いの際、大規模港では対応に問題は無いが、地方等の小規模港では設備によりコンテナ搬送の為に吊り具の取替えが必要となる。同社はこの不便さを解消し荷役効率のアップ、作業負担を減少させるものとして2種類の長さをもつ1台で扱えるスプレッダーを開発。機能面、価格面もクリアし事業化に成功。			
授賞理由	20フィートと40フィートのコンテナが混在して用いられている現状では、コンテナの種類毎にクレーンに装着するスプレッダーを取り替えなければならない。港湾荷役関係者から取替え作業が簡単かつ安全で、短時間に行える兼用型の開発を要望されていた。そのニーズを拾い、経営革新支援等公的サポートを受けながら販売出来る商品にまで完成させた点及びニッチ市場ながらも確実に需要があると推測される小規模港を開拓した意義は大きい。			

2. 学生部門

【学生ニュービジネス大賞】

	対象事業	H A c a I O K A ～アバターを使った健康管理支援システム～		
	チーム名/学校名/E-mail		住所/TEL/FAX	
	H A c a I O K A 代表：松田 かおり (奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科博士前期課程1年生) 他3名(前田紗希、石橋正守、杉村恵美)		〒630-0192 奈良県生駒市高山町8916-5 (けいはんな学研都市)	
	E-mail: kaori-m@is.naist.jp		◎奈良先端科学技術大学院大学 TEL 0743-72-5602 FAX 0743-72-5609	
	【事業概要及び授賞理由】	公的医療費の抑制に向けた喫緊の課題としてメタボリック症候群の改善が掲げられている。様々な疾病の要因となる同症候群を未然に防ぐ事が国の重要な方針となり、今春にはメタボ検診が導入された。同チームはこのメタボリック症候群の予備軍である男性会社員を主なターゲットに本事業プランを考案。特徴は対象者自らの分身としてアバターを使い、メタボ改善に向けた取り組みの結果を映す鏡として示す点にある。最初に登録した基本情報からダイエット計画、カロリー計算から改善通知、さらにアバターによるモチベーション管理等、意欲を持ち続ける仕組みを備えている。時流に沿った事業提案であり、メタボ改善への取り組みのモデルとして評価された。 <small>※アバター (avatar) = 2D/3Dのビジュアルチャットやワールドワイドウェブ上の、比較的大規模なインターネットコミュニティで用いられる、「自分の分身となるキャラクター」、または、そのサービスの名称である。漫画のような姿のキャラクターが用いられる場合が多い。(出典: フリー百科事典「ウィキペディア (Wikipedia)」)</small>		
【推薦の言葉】	京都大学経営管理大学院 准教授 桐畑哲也氏 松田かおりさんらの起業チームは、奈良先端科学技術大学院大学情報、バイオ、物質創成の3研究科に所属する混成チームで、システム・ソフト開発・ヘルスケア関連の高い知識を有しており、本ビジネスプランを担う能力を十分有している。今回のビジネスプランの作成にあたっては企業における健康管理の状況について、インタビューを行う等、その熱心な取り組みは高く評価出来、インターフェースにおける女性ならではのきめ細かな配慮も好感が持てる。			

【近畿経済産業局長賞】

	対象事業	携帯電話を介したWeb 2.0的観光補助システム		
	チーム名/学校名/E-mail		住所/TEL/FAX	
	釋 一晃 (しゃくかずあき)		〒606-8501 京都市左京区吉田本町36番地1	
	(京都大学経営管理大学院 経営管理教育部 博士前期課程2年生)		◎京都大学経営管理大学院 TEL 075-753-3538 FAX 075-753-3538	
	E-mail: lieza2003@gmail.com			
【事業概要及び授賞理由】	主に美術館・博物館に対する携帯電話を媒体とした情報発信・共有・検索サービスの事業化案。釋一晃さんは以前に在籍していた大学院での研究を基に考案、実証事例もある。美術館等へ利用者を誘導する仕組みから、ユーザーが操作する際の利便性と効率性を備えている。情報共有・検索システムにWEB2.0的要素を取り入れ、3クリックルールやソーシャルタギングを導入し満足度を充足。また施設での感想を入力すれば自動的に「旅の記録」作成が可能。これらの特徴に加え、社会インフラとして普及率の高い携帯電話を事業基盤としている点や、実家の会社の第2創業として事業化を考えており、今後に期待出来るものである。			
【推薦の言葉】	京都大学経営管理大学院 准教授 桐畑哲也氏 釋一晃さんは、本大学院に在籍する以前の大学院において、美術館等の利用率向上を目的とした研究プロジェクトに参画する等、本事業計画遂行に十分な基礎知識は有している。また、大学院修了後は実家の経営する企業の経営幹部となる事が予定され、本事業計画について本人は当該企業における新事業として遂行したいとする熱意を持っており、本事業計画は申請者の知識と共に、遂行段階においても非常に実現可能性が高い事業計画書として高く評価出来る。			